

# 山形県地域密着型サービス外部評価結果報告書

<認知症対応型共同生活介護用>

## 評価結果報告書

### 地域密着型サービスの外部評価項目構成

|                                | 項目数 |
|--------------------------------|-----|
| I. 理念に基づく運営                    | 11  |
| 1. 理念の共有                       | 2   |
| 2. 地域との支えあい                    | 1   |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用          | 3   |
| 4. 理念を実践するための体制                | 3   |
| 5. 人材の育成と支援                    | 2   |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援          | 2   |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応      | 1   |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援      | 1   |
| III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント  | 6   |
| 1. 一人ひとりの把握                    | 1   |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | 2   |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援              | 1   |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働    | 2   |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援      | 11  |
| 1. その人らしい暮らしの支援                | 9   |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり        | 2   |
| 合計                             | 30  |

※自己評価項目番号26 馴染みながらのサービス利用  
自己評価項目番号39 事業所の多機能性を活かした支援  
については、小規模多機能型居宅介護事業所についてのみ記入

|       |                  |
|-------|------------------|
| 事業所番号 | 673200416        |
| 法人名   | 社会福祉法人さくら福祉会     |
| 事業所名  | グループホームまつやま      |
| 訪問調査日 | 平成 20 年 7 月 30 日 |
| 評価確定日 | 平成 20 年 9 月 3 日  |
| 評価機関名 | 山形県国民健康保険団体連合会   |

#### ○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

#### ○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

#### ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

|               |                                    |       |           |
|---------------|------------------------------------|-------|-----------|
| 事業所番号         | 673200416                          |       |           |
| 法人名           | 社会福祉法人さくら福祉会                       |       |           |
| 事業所名          | グループホームまつやま                        |       |           |
| 所在地<br>(電話番号) | 山形県酒田市字西田12-5<br>(電話) 0234-61-4088 |       |           |
| 評価機関名         | 山形県国民健康保険団体連合会                     |       |           |
| 所在地           | 山形県寒河江市大字寒河江字久保6番地                 |       |           |
| 訪問調査日         | 平成20年7月30日                         | 評価確定日 | 平成20年9月3日 |

## 【情報提供票より】(平成20年7月8日事業所記入)

### (1) 組織概要

|       |                 |                      |       |
|-------|-----------------|----------------------|-------|
| 開設年月日 | 平成 17 年 9 月 2 日 |                      |       |
| ユニット数 | 2 ユニット          | 利用定員数計               | 18 人  |
| 職員数   | 16 人            | 常勤 14人, 非常勤 2人, 常勤換算 | 14.3人 |

### (2) 建物概要

|      |        |      |        |  |
|------|--------|------|--------|--|
| 建物形態 | ○併設/単独 |      | ○新築/改築 |  |
| 建物構造 | 木造 造り  |      |        |  |
|      | 1 階建ての | 1階 ~ | 階部分    |  |

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

|                     |                  |                |       |
|---------------------|------------------|----------------|-------|
| 家賃(平均月額)            | 25,000 円         | その他の経費(月額)     | 実費 円  |
| 敷金                  | 有( 円) ○ 無        |                |       |
| 保証金の有無<br>(入居一時金含む) | 有( 円) 無○         | 有りの場合<br>償却の有無 | 有/無   |
| 食材料費                | 朝食               | 円              | 昼食 円  |
|                     | 夕食               | 円              | おやつ 円 |
|                     | または1日当たり 1,000 円 |                |       |

### (4) 利用者の概要(7月8日現在)

|       |        |        |         |
|-------|--------|--------|---------|
| 利用者人数 | 18 名   | 男性 2 名 | 女性 16 名 |
| 要介護1  | 2 名    | 要介護2   | 8 名     |
| 要介護3  | 6 名    | 要介護4   | 1 名     |
| 要介護5  | 1 名    | 要支援2   | 名       |
| 年齢 平均 | 84.8 歳 | 最低     | 74 歳    |
|       |        | 最高     | 95 歳    |

### (5) 協力医療機関

|         |                        |
|---------|------------------------|
| 協力医療機関名 | 酒田市国民健康保険松山診療所・五十嵐歯科医院 |
|---------|------------------------|

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

運営推進会議を通じたホームの理解促進、小学生や地域の方のボランティア活動、避難訓練、文化交流など、地域との強いつながりに支えられた交流が盛んに行われており、地域の中の福祉の拠点としても大いに期待されています。  
ホームの運営法人は特別養護老人ホーム、グループホーム、小規模多機能型居宅介護施設なども運営しており、法人内での研修会や交流会等を活発に行って、管理者や職員の人材育成と利用者サービスの質の向上に力を入れています。

## 【重点項目への取り組み状況】

|      |   |  |
|------|---|--|
| 重点項目 | ① | 前回評価での改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)<br><br>前回評価での改善課題はありません。<br><br>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)<br>管理者は職員に対し、自己評価の内容を常に意識し、出来ていないところを改善していくよう日常の行動の中や会議の時に話し合い、評価を活かして改善に取り組んでいる。 |
|      | ② | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)<br><br>運営推進会議では、事業計画や状況、行事の計画、併設の小規模事業所の説明などを行い、会議で出されたテーマ「水害に対する防災をどのようにするか」に対しても取り組んでいる。  |
| 重点項目 | ③ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)<br><br>事業所に苦情受付簿を設置したり、家族総会や面会時に気軽に話してもらえるように努めている。また、「いつまでもおいて欲しい。」といった意見に対しては、「できること」「できないこと」を丁寧に説明するようにしている。                            |
| 重点項目 | ④ | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)<br><br>夏祭りや文化祭には積極的に参加し、地域のお祭りではホームに獅子舞が来てくれる。また、小学生の訪問、地域の方との体操や芸能の交流も行われている。  |

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

| 外部                           | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|----|---|---|------|-----------------------------------|
| <b>I. 理念に基づく運営</b>           |    |   |   |      |                                   |
| <b>1. 理念と共有</b>              |    |   |   |      |                                   |
| 1                            | 1  | ○地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている                  | 地域密着型のグループホームとなったことを機に「地域の中で、その人らしく、いきいき」という理念を作り上げている。                             |      |                                   |
| 2                            | 2  | ○理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                                     | 管理者、職員が理念を意識し実践できるよう玄関、ホール、事務所等に掲げ、朝のミーティングや申し送りのなかで話し合い取り組んでいる。                    |      |                                   |
| <b>2. 地域との支えあい</b>           |    |   |   |      |                                   |
| 3                            | 5  | ○地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている               | 夏祭りや文化祭には積極的に参加し、地域のお祭りではホームに獅子舞が来てくれる。また、小学生の訪問、地域の方との体操や芸能の交流も行われている。             |      |                                   |
| <b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b> |    |   |   |      |                                   |
| 4                            | 7  | ○評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる                 | 管理者は職員に対し、自己評価の内容を常に意識し、出来ていないところを改善していくよう日常の行動の中や会議の時に話し合い、評価を活かして改善に取り組んでいる。      |      |                                   |
| 5                            | 8  | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議では、事業計画や状況、行事の計画、併設の小規模事業所の説明などを行い、会議で出されたテーマ「水害に対する防災をどのようにするか」に対しても取り組んでいる。 |      |                                   |

山形県 グループホームまつやま

| 外部              | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|----|---|---|------|-----------------------------------|
| 6               | 9  | ○市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                            | 一人暮らしの方の相談を受けたり、申請や生活保護の相談に向いたりして市町村とは連絡を取り合っており、また、市の連絡協議会に入会し担当職員とも連携を取っている。                                  |      |                                   |
| 4. 理念を実践するための体制 |    |   |   |      |                                   |
| 7               | 14 | ○家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている                           | 毎月、利用者の暮らしぶりや健康状態を書いた手紙、預かり金の出納状況のコピーを送り、年4回のホーム便りには行事の事や職員の異動などを載せている。また、面会時には近況を報告し、心身の状態変化時は、電話連絡を迅速に行なっている。 |      |                                   |
| 8               | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                             | 事業所に苦情受付簿を設置したり、家族総会や面会時に気軽に話してもらえるように努めている。また、「いつまでもおいて欲しい。」といった意見に対しては、「できること」「できないこと」を丁寧に説明するようにしている。        |      |                                   |
| 9               | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの職員による支援が受けられるように配置異動を行い、職員が交代する場合でも、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている          | 法人内での異動など分かったら直ぐに利用者、家族に説明し、出来るだけ一緒に引継ぎを行うようにしたり、所長がフォローに入ったりする。また、担当制にしており、記録はしっかり見て理解するようにしている。               |      |                                   |
| 5. 人材の育成と支援     |    |   |   |      |                                   |
| 10              | 19 | ○職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている           | 管理者、職員は法人内外の研修会に参加している。法人内で、毎月外部講師を招き研修を行い、会議等で伝達したり、実践研究発表会を開催したりして人材の育成に取り組んでいる。                              |      |                                   |
| 11              | 20 | ○同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 交換研修を受け入れたり、法人内の事業所と交流したりして、行事の進め方、飾り付けの仕方など参考にしながら、サービスの質の向上に努めている。また、県や市の連絡協議会の研修等にも参加している。                   |      |                                   |

| 外部                             | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|----|--|--|------|-----------------------------------|
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応      |    |  |  |      |                                   |
| 12                             | 26 | <b>【小規模多機能型居宅介護のみ】</b><br>○馴染みながらのサービス<br>利用本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | (小規模多機能型居宅介護のみの調査項目)   |      |                                   |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援      |    |  |  |      |                                   |
| 13                             | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている  | お互いに協働しながら和やかな生活が出来るように場面作りや声かけを行っており、畑仕事や毎日の調理、あるいは行事食、笹巻き、しそ巻き、梅干作りなど、教えてもらいながら一緒に行っている。 |      |                                   |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント    |    |  |  |      |                                   |
| 1. 一人ひとりの把握                    |    |  |  |      |                                   |
| 14                             | 33 | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 日々の関わりのなかでの声を掛けによって、思いや意向の把握に努めている。また、意思疎通の困難な方の場合には家族、親戚、近所の方、関係者などから情報を得て本人本位に検討している。    |      |                                   |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し |    |  |  |      |                                   |
| 15                             | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している                                  | 本人や家族からは常日頃の関わりや面会などで意見や思いを聞いておき、職員、関係者で意見交換、確認、検討を行って介護計画を作成している。                         |      |                                   |
| 16                             | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している                              | 6ヵ月毎に見直しを行い介護計画を作成している。また、見直し以前に対応できない悪化や入院などの変化が生じた場合は、本人や家族、関係者と話し合い、新たな介護計画を作成している。     |      |                                   |

| 外部                                 | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|--|--|------|-----------------------------------|
| <b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>           |    |  |  |      |                                   |
| 17                                 | 39 | <b>【小規模多機能型居宅介護のみ】</b><br>○事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、<br>事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をして<br>いる      | (小規模多機能型居宅介護のみの調査項目)   |      |                                   |
| <b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b> |    |  |  |      |                                   |
| 18                                 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切に、かかりつけ医<br>と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受け<br>られるように支援している                        | 事業所の協力医、かかりつけ医、病院の専門科への受診が適切に受けられるよう、家族と連携を取りながら通院介助を行っている。  |      |                                   |
| 19                                 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、でき<br>だけ早い段階から本人や家族等ならびにかかり<br>つけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有<br>している | 「重度化した場合における対応に係る指針」を作成し、重度化した場合や終末期のあり方について家族へ説明を行っており、状態の変化に合わせて、かかりつけ医と話し合いを設けながら方針を共有している。                       |      |                                   |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>   |    |  |  |      |                                   |
| <b>1. その人らしい暮らしの支援</b>             |    |  |  |      |                                   |
| <b>(1)一人ひとりの尊重</b>                 |    |  |  |      |                                   |
| 20                                 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言<br>葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをし<br>ていない                             | 職員会議やミーティングで話し合い意識の向上を図っている。利用者の意思を尊重した声がけを行い、個人情報の書類は事務所から出さないよう徹底されており、また、近所の方からの問い合わせに対しても、家族の意向に合わせて対応するようにしている。 |      |                                   |
| 21                                 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一<br>人ひとりのペースを大切に、その日をどのように<br>過ごしたいか、希望にそって支援している               | 一人ひとりの体調に合わせて通院したり、体操を行ったりして過ごし、一人ひとりの希望やペースに合わせて買い物、入浴、散歩等の支援を行っている。  |      |                                   |

山形県 グループホームまつやま

| 外部                                   | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|----|--|---|------|-----------------------------------|
| <b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b> |    |  |   |      |                                   |
| 22                                   | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている                       | 法人の献立を利用しているが、利用者の意見を聞きながら行事食に変更したり、畑の野菜を利用したりしている。また、配膳、茶碗拭きなどは、職員と一緒に準備したり片付けたりしている。                        |      |                                   |
| 23                                   | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している                      | 昼過ぎに入浴希望を聞いてから入浴してもらうようにしており、毎日入浴する方も居る。入浴を嫌がる方の場合でも、その利用者のタイミングにあわせた入浴支援が行われており、また、他の利用者が上手に誘導してくれたりすることもある。 |      |                                   |
| <b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b> |    |  |   |      |                                   |
| 24                                   | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている                    | 利用者一人一人の好みや能力に合わせ、畑仕事や体操、散歩、塗り絵や切り絵などで楽しみ、誕生日には好きな所に出かけるといった支援をしている。  |      |                                   |
| 25                                   | 61 | ○日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                                      | 本人の希望や気分に応じて、畑仕事や買い物、ドライブ、毎日の散歩など、戸外へ出かけられるよう支援している。  |      |                                   |
| <b>(4) 安心と安全を支える支援</b>               |    |  |   |      |                                   |
| 26                                   | 66 | ○鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、環境や利用者の状態を考慮しながら鍵をかけないで安全に過ごせるような工夫に取り組んでいる。 | 利用者が外出しそうな様子を察知したら、さり気なく声を掛けたり一緒に出かけたりしている。また、近隣の人にも利用者を見かけた際には、ホームに連絡してくれるようお願いしており、鍵を掛けないで生活できるよう配慮されている。   |      |                                   |
| 27                                   | 71 | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている                         | 消防計画に基づき、年2回、利用者、地域の住民、市職員、消防署の協力を得た訓練を行っており、秋には、夜間想定の方難訓練も行う予定である。また、消火器や非常ベル等について、毎月内部研修を行っている。             |      |                                   |

山形県 グループホームまつやま

| 外部                        | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|----|---|---|------|-----------------------------------|
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |    |   |   |      |                                   |
| 28                        | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている                                   | 食事や水分の摂取量をチェック表に記録し、情報を職員間で共有しており、また、一人一人の状態や能力に応じた食事形態による支援が行われている。                                      |      |                                   |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり   |    |   |   |      |                                   |
| (1)居心地のよい環境づくり            |    |   |   |      |                                   |
| 29                        | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | ホールは明るくゆったりと過ごせる空間であり、人間関係を考慮したソファや椅子の配置となっている。また、季節の花を飾ったり、梅干や洗濯物が干せるウッド・デッキも設置されており、家庭的な雰囲気の共用空間となっている。 |      |                                   |
| 30                        | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                    | 居室にはテレビ、タンス、位牌など、使い慣れたものが持ち込まれており、その人らしい「自分の部屋」となっている。また、必要に応じてポータブル・トイレを置き、利用者が安心して過ごせるようにしている。          |      |                                   |